

外務省海外安全情報（危険情報：抜粋）

バーレーンへの渡航を予定される皆様へ

発出日：2025年3月31日（継続）

全 土	〔レベル1〕 「十分注意してください。」（継続）
-----	-----------------------------

【ポイント】

シーア派住民が多く居住する地区（以下「シーア派地区」、下記2(1)の地区等）では、集会・デモ等で参集している者と治安部隊との衝突が時折発生しています。2021年2月には爆弾テロ未遂事件が発生し、過去には、実際に死傷者を伴う爆発物によるテロ事件も発生していることから、同地区には近寄らないなど、安全対策に留意してください。

【概況】

- (1) バーレーンの治安情勢は概ね落ち着いており、治安の急激な悪化が懸念される状況ではありません。また、一般犯罪（強盗、窃盗、暴行等）の発生も少ない状況にあります。
- (2) ただし、過去にはシーア派地区において、過激化した若者が、タイヤを燃やして道路を封鎖する、火炎瓶を投てきするなどの暴力的活動を行い、治安部隊との衝突に発展しています。また、2023年10月のハマス等パレスチナ武装勢力によるイスラエルへの攻撃以降、反イスラエル集会やデモ等が断続的に行われており、一部地域では、治安部隊が催涙ガス等を使用してデモ隊を解散させる事案も発生しています。
同地区では、2021年2月に銀行を標的とした爆弾テロ未遂事件が発生しているほか、過去には政府・警察を標的とした手製爆発物の爆発により、死傷者が出るテロ事件も起きています。
このような状況から、昼夜を問わず、シーア派地区へ立ち入ることは避け（交通渋滞等により迂回路として利用することも避けてください）、仮にデモ隊や群衆との遭遇や、爆発音、あるいは、不審者、不審物、不審車両を発見した場合には、直ぐにその場から離れ、不測の事態に巻き込まれないよう安全対策に留意してください。

現在のところ、バーレーンにおいて、テロ・誘拐による日本人の被害は確認されていませんが、過去にはシーア派地区において複数の事案が発生しているため、安全対策には十分注意してください。

近年は、世界的傾向として、軍基地や政府関連施設だけでなく、警備や監視が手薄で不特定多数が集まる場所を標的としたテロが頻発しています。特に、観光施設周辺、イベント会場、レストラン、ホテル、ショッピングモール、公共交通機関、宗教関連施設等は、テロの標的となりやすく、常に注意が必要です。
また、外国人を標的とした誘拐のリスクも排除されず、注意が必要です。

テロ・誘拐はどこでも起こり得ること、日本人も標的となり得ることを十分に認識し、テロ・誘拐に巻き込まれることがないよう、「たびレジ」、海外安全ホームページ、報道等により最新の治安情報の入手に努め、状況に応じて適切かつ十分な安全対策を講じるよう心掛けてください。

バーレーンのテロや誘拐に関する情報については、テロ・誘拐情勢

(https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_053.html) も参照してください。

※外務省海外安全情報（危険情報）の詳細につきましては、

外務省海外安全ホームページ : <http://www.anzen.mofa.go.jp>

<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>（携帯版）にてご確認ください

または、

外務省領事サービスセンター 電話：（外務省代表）03-3580-3311（内線）2902, 2903

外務省領事局海外邦人安全課（テロ・誘拐関連を除く） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）2306

外務省領事局邦人テロ対策室（テロ・誘拐関連） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）3047

までお問い合わせください。

弊社では海外安全情報が発出された場合、原則として〔レベル1〕「十分注意して下さい」までの地域、国についてツアーを実施しており、ツアー実施にあたりましては、現地情報を十分把握し、安全で円滑な日程となる様配慮して運行管理を行っております。